

2027年度

神戸女学院大学大学院

人間科学研究科博士前期課程

入学試験要項



神戸女学院大学

目 次

ミッションステートメントと3ポリシー	1
2027年度 大学院人間科学研究科博士前期課程入学試験要項	
1. 入学定員	6
2. 出願資格	6
3. 試験日	6
4. 試験科目・試験時間割	6
5. 受験上の注意	8
6. 出願期間・方法	8
7. 出願手続	8
〔Ⅰ〕出願書類	8
〔Ⅱ〕入学検定料の納入方法	9
〔Ⅲ〕出願要領	9
〔Ⅳ〕出願上の注意	9
8. 志願票・受験票記入上の注意	10
9. 判定結果通知	12
10. 入学手続	12
11. 納付金	12
12. 社会人入学	13
神戸女学院大学大学院人間科学研究科概要	
人間科学専攻 博士前期課程	14

ミッションステートメントと3つのポリシー（大学院）

ミッションステートメント

神戸女学院大学大学院は、学ぶ者と働く者が共に学院標語「愛神愛隣」に基づく基督教の精神を分かち合い、時代の潮流に流されることなく、置かれた場で、利害を超え、自らの役割を感知し、果たし、人にとって真に大切なものを見分ける、共感性の高い人格への成長を目指します。

ディプロマ・ポリシー

神戸女学院大学大学院は、キリスト教主義の伝統ある女性高等教育機関として、学院標語「愛神愛隣」に基づいて、置かれた場で時代の潮流に流されることなく利害を超えて自らの役割を果たす、他者と深く共感する人格を養成します。

そのような人格に必要な以下の能力を修得し、学位論文・最終試験を含む修了要件を満たした人に対して修士の学位を授与します。

1. 高度な専門的なものの見方や表現力、専門的技術を体系的に備え、専門的技術を活かした教育・研究キャリアに従事する能力
2. 共感性の高い人格の教養を備え、専門領域の知識や技術を有効に社会に還元する能力
3. 主体的に学び続ける姿勢を備え、新たな企画を創造する能力
4. 様々な他者と交流できる優れたコミュニケーション力と社会の一員としての高い倫理的意識を備え、愛と奉仕の精神で人々に尽くす能力

また、上記のような人格に必要な以下の能力を修得し、学位論文・最終試験を含む修了要件を満たした人に対して博士の学位を授与します。

1. 専門領域のより深い知識と思考力を備え、自立した研究者、指導者としての能力
2. 主体的に学び続ける姿勢を備え、新たな企画を創造する能力
3. 様々な他者と交流できる優れたコミュニケーション力と社会の一員としての高い倫理的意識を備え、愛と奉仕の精神で人々に尽くす能力

修士、博士の学位に伴う学位論文の審査あるいは最終試験においては、公開発表会を行います。

カリキュラム・ポリシー

神戸女学院大学大学院は、ディプロマ・ポリシーに定めた人格を養成するために、文学研究科（博士前期・後期課程）、人間科学研究科（博士前期・後期課程）、音楽研究科（修士課程）を置き、次のような方針に基づいて教育科目を設定します。

1. 学生が高度な専門的学術理論・技術を修得し、研究することができるようになるための科目を設定すること（専門科目）
2. 学生が社会に貢献するために必要な基督教精神を育むための科目を設定すること（キリスト教学）

3. 学生が文化・思想・科学の進歩に寄与する独創性、論理的思考力、表現力を獲得するための科目を設定すること（演習科目）

教育課程については、体系性・系統性の理解を促すため、学問分野、科目間の連携や科目内容の難易度を表す科目番号および、必修科目、選択必修科目、選択科目などについての科目記号を学修便覧等につけ、なおかつ、教育課程の構造をカリキュラム・マップやカリキュラム・ツリーで分かりやすく明示します。

アドミッション・ポリシー

本学大学院のミッションステートメントとディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーをよく理解し、それぞれの研究科・専攻の教育課程を履修するために必要な学力を備えた人を受け入れます。その目的を達成するため、入学試験を下記の通り実施します。

博士前期課程、修士課程

1. 高度な専門的知識を深く修得することを志す人
2. 修得した技能を活かし、より善い社会の実現を志す人
3. 他者への共感性を備え、隣人に仕えることを志す人

全ての研究科において、高度な専門的知識を獲得するのに必要な学力（外国語の能力、思考力・表現力）を備えた人を広く受け入れるために、一般入学試験（秋季(全研究科)と春季(文学研究科、人間科学研究科)）を実施します。また、文学研究科および人間科学研究科では本学の学部教育に引き続き学びたい人を受け入れるために、内部推薦入学試験（夏季）を実施します。

博士後期課程

1. 高度に専門的なものの見方や表現力、専門的技術を体系的に備え、専門的技術を活かした教育・研究キャリアに従事することができる人
2. 共感性の高い人格的教養を備え、専門領域の知識や技術を有効に社会に還元することができる人
3. 主体的に学び続ける姿勢を備え、新たな企画を創造することができる人
4. 様々な他者と交流できる優れたコミュニケーション力と社会の一員としての高い倫理意識を備え、愛と奉仕の精神で人々に尽くすことができる人

文学研究科、人間科学研究科においては、高度な専門的知識、創造性および表現力を備えているとみなすことのできる人を広く受け入れるために、一般入学試験（春季）を実施し、研究立案力、思考力、表現力、外国語の能力について考査します。

神戸女学院大学大学院 人間科学研究科

【ディプロマ・ポリシー】

大学院3ポリシーのもと、人間科学研究科では、人間やそれを取り巻く自然や環境に対する幅広い視野と知識をもとに、社会に還元しうる知見を生み出すことを目指しつつ、深い洞察力と国際的視野をもって、国際社会や地域社会に貢献する人格を養成します。

そのような人格に必要な以下の能力を修得し、博士前期課程の修了要件を満たした人に対して修士（人間科学）の学位を授与します。修了の認定にあたっては、学位論文の公開審査をうけ、最終試験に合格することが求められます。

1. 人間の心と身体、社会や人間を取り巻く自然、環境、その成り立ちや働き、その多様性について専門的知識を幅広く備え、研究倫理を遵守しつつ、豊かな感受性で、多面的視点から人間や環境を理解する能力
2. 人間やそれを取り巻く自然や環境を対象に、主体的に課題を見つけて研究計画を立て、データを分析し考察することで培われる科学的、実証的に課題を探究する能力
3. 「愛神愛隣」の精神に基づいて、多様な文化的背景を持つ人々とコミュニケーションができる能力
4. 学位論文研究等で得られた成果を、よりよい社会実現のために、学会、研究会等で発信、討論できる能力

また、上記のような人格に必要な以下の能力を修得し、博士後期課程の修了要件を満たして博士学位論文を提出した人に対して、博士（人間科学）の学位を授与します。博士学位の認定にあたっては、学位論文の公開審査をうけ、最終試験に合格することが求められます。

1. 人間や環境を対象とした分野の専門領域における高度で先端的な知識・技能を備え、研究倫理を遵守しつつ独創的な研究を遂行する能力
2. 広い視野と豊かな学識を備え、自立した研究者や指導者として、あるいは専門的職業人として活動できる資質と能力
3. 母語及び外国語の高い運用能力とコミュニケーション能力を備え、研究の成果を国内外に発信して社会に還元する能力

人間科学研究科では修士論文および博士論文は主査および副査が審査し、研究科委員会で可否を判定します。研究科委員会での審議を経たのち、大学院委員会で可否の判定を行います。修士号および博士号を授与された論文は製本されて本学図書館に保管され一般の閲覧に供します。合格した博士論文は3か月以内に論文要旨、審査結果の要旨を学内学術刊行物及びインターネットの利用により公表します。

【カリキュラム・ポリシー】

ディプロマ・ポリシーに定めた人格を養成するため、人間科学研究科（博士前期・後期課程）に人間科学専攻を置き、次のような方針に基づいて教育科目を設定します。

博士前期課程

博士前期課程には臨床心理学分野、人間行動学分野、環境科学分野、健康科学分野の4分野を置きます。臨床心理学分野は公認心理師および臨床心理士養成のための高度職業人育成教育と臨床心理学分野の研究を行います。この分野は、公認心理師養成に必要なカリキュラムを完備し、また（財）日本臨床心理士資格認定協会より臨床心理士養成大学院第1種指定を受け、心の問題とその援助法を探究します。人間行動学分野は人間の認識や行動、社会、文化の諸問題を探究します。環境科学分野は人間が環境に及ぼす影響を理解し、人間と自然の関係を探究します。健康科学分野は環境要因と健康、食と健康との関係、心身の相互作用などを研究します。

博士前期課程では、専攻・分野の特性にあわせて、以下のような基本方針に基づくカリキュラムを編成します。

1. 専攻・分野において、専門分野における高度な専門的知識・技能を身につける科目を設定すること（専門科目）
2. 学生が社会に貢献するために必要なキリスト教精神を育むための科目を設定すること（キリスト教学）
3. 専門的な知を有機的に結合し、学際的視野に立った総合判断力を養うために「合同演習」という人間科学研究科の学生全員が研究発表する演習科目を設けること（人間科学合同演習）
4. 研究調査能力、実験や検査に関わる技能、知識、現場における実践的能力を養う科目を設定すること（演習、実習科目）
5. 公認心理師および臨床心理士養成のため高度専門的なキャリア育成のための教育課程や科目を設定し、また高度専門職を目指す学生に配慮した履修プログラムを提供すること（資格関連科目）
6. 修士論文・修士課題研究作成において、高度な専門性を追及し、幅広い視野や知識技術を活かした成果を生み出すよう指導すること（特別研究）

博士後期課程

博士後期課程には臨床人間科学分野と人間環境科学分野の2分野を置きます。臨床人間科学分野は心の働きや人間の行動、発達の多様な側面、現代社会における人々の心の健康や適応、さらにさまざまな文化現象などについて、多面的・実践的に研究を行います。人間環境科学分野は動植物の生態に関する研究、人間の諸活動による環境変化が生物個体や生態系に及ぼす影響の研究、また人間の身体健康や病気のメカニズム、栄養に関する研究などを行います。

博士後期課程では博士前期課程で身につけた学識と能力をさらに発展させ、以下のような基本方針に基づくカリキュラムを編成します。

1. 専門的な知を有機的に結合し、学際的視野に立った総合判断力を養うために「合同演習」という人間科学研究科の学生全員が研究発表する演習科目を設けること（人間科学合同演習）
2. 研究者として自立した活動をおこなうのに必要となる高度な研究能力を養い、博士学位の取得を目標とした研究指導を行うこと

教育課程については、体系性・系統性の理解を促すため、学問分野、科目間の連携や科目内容の

難易度を表す科目番号および、必修科目、選択必修科目、選択科目などについての科目記号を学修便覧等につけ、なおかつ、教育課程の構造をカリキュラム・マップやカリキュラム・ツリーで分かりやすく明示します。

【アドミッション・ポリシー】

本学大学院のミッションステートメントと本研究科のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーをよく理解し、それぞれの分野の教育課程を履修するために必要な学力、資質を備えた人を受け入れます。

博士前期課程

1. 各分野が求める高度の専門的知識や実践的技能に関わる基礎をもった人
2. 明確な研究目的をもって課題を積極的に発見し、探究する意欲がある人
3. 国際的視野に立った研究を遂行する基礎となる知識と能力をもった人
4. 本研究科の理念・目的を理解し、自ら学修・研究を進めることができる人

本学の学部教育に引き続き学びたい人を受け入れるために、大学院進学を前提とした早期卒業生の受け入れ（人間行動学分野、環境科学分野、健康科学分野）、内部推薦入学試験（人間行動学分野、環境科学分野、健康科学分野）、一次試験免除入学試験（臨床心理学分野）を実施します。高度な専門的知識を獲得するのに必要な学力（外国語の能力、専門分野を学ぶための基礎知識・技能、思考力・表現力）を備えた人を広く受け入れるために、一般入学試験（秋季は臨床心理学分野を含む全分野、春季は人間行動学分野、環境科学分野、健康科学分野）を実施します。また、多様な経験やキャリアをもとに、より高い専門性を目指したい人のために、社会人入学試験（春季のみ、人間行動学分野、環境科学分野、健康科学分野）を実施します。

博士後期課程

1. 各分野が求める高度の専門的知識や実践的技能に関わる基礎をもった人
2. 明確な研究目的をもって課題を積極的に発見し、探究する意欲がある人
3. 国際的視野に立った研究を遂行する基礎となる知識と能力をもった人
4. 高度な職業人、教育・研究者を目指し、自ら創造的研究を進めることができる人

高度な専門的知識、創造性および表現力を備えているとみなすことのできる人を広く受け入れるために、一般入学試験（春季）を実施し、研究立案力、思考力、表現力、外国語の能力について考查します。

2027年度 大学院人間科学研究科博士前期課程入学試験要項

1. 入 学 定 員

人 間 科 学 専 攻 10名

2. 出 願 資 格

次の各項のいずれかに該当する女子。

1. 大学を卒業した者および2027年3月末までに卒業見込みの者。
2. 学位授与機構により学士の学位を授与された者。
3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者および2027年3月末までに修了見込みの者。
4. 文部科学大臣の指定した者。
5. 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、出願年度末に21歳に達した者。
6. 大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者。
7. 専修学校の専門課程で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。

3. 試 験 日

受験分野	a. 秋 季 試 験	b. 春 季 試 験
臨床心理学 ^注	2026年9月16日(水) 筆記試験 9月17日(木) 面接	
人間行動学 環 境 科 学 健 康 科 学	2026年9月16日(水) 筆記試験・面接	2027年2月17日(水) 筆記試験・面接

注 臨床心理学分野は秋季試験のみ募集

4. 試験科目・試験時間割

◎ 1 日 目

科 目	受験分野	時 間
英 語 ^{注1・注2}	臨床心理学 人間行動学	10:00～11:00 (60分)
	環境科学 ^{注3} 健康科学 ^{注3}	
専 門 ^{注4・注5}	全分野共通	11:15～12:15 (60分)
面 接	人間行動学 環 境 科 学 健 康 科 学	13:00 (1名15分程度) 面接終了後随時解散

注1 英語：臨床心理学、人間行動学に関する分野のいずれか

注2 英語試験は大学側で用意した辞書（紙媒体の英和辞典）のみ使用可。

注3 環境科学分野および健康科学分野は、英語の筆記試験は実施せず、TOEIC® L&R もしくは TOEFL

iBT®の英語資格試験のスコアに基づいて評価を行う。TOEIC® L&R は TOEIC® 公開テスト、または TOEIC® Institutional Program (IP) テスト (マークシート版) は対象とするが、IP テスト (オンライン版) は認めない。出願時に上記いずれかのスコア証明書 (写し可) を提出すること。ただし、いずれのスコアも出願書類提出時から2年以内のものに限る。

注4 専門：臨床心理学、人間行動学、環境科学、健康科学に関する分野のいずれか

注5 環境科学分野および健康科学分野の受験者は、7ページに掲載の専門試験範囲参照。

※臨床心理学分野の受験者は、16時頃に試験本部前において筆記試験合格者を発表しますので、確認してください。

専門試験範囲（環境科学分野および健康科学分野のみ）

環境科学分野および健康科学分野の専門試験では、領域ごとに指定された下記のテキスト（出題範囲）から出題されます。

受験分野	領 域	指定テキスト（出題範囲）
環境科学	環境科学	「環境科学入門：地球と人類の未来のために 第2版（川合真一郎他著、化学同人、2018年）」の第1-10章
	生態学	「生態学入門 第2版（日本生態学会編、東京化学同人、2012年）」の第1-10章
	科学教育	「理論と実践をつなぐ理科教育学研究の展開（一般社団法人日本理科教育学会編著、東洋館出版社、2022年）」の第1章
	上記の領域から解答時に任意に選択する2領域について受験すること。	
健康科学	健康科学	頭痛の本（あかし出版）
	食品科学	「食べ物と健康 I」食品学総論（八千代出版） ISBN978-4-8429-1825-9
	精神医学	精神疾患とその治療（医歯薬出版）
	生化学	基礎からしっかり学ぶ 生化学（羊土社）
	分子生物学	Essential 細胞生物学（原書第5版）（南光堂）
	上記の領域から解答時に任意に選択する2領域について受験すること。	

◎2日目（秋季試験 臨床心理学分野 筆記試験合格者のみ）

受験分野	科 目	時 間
臨床心理学	面接	10：00～（1名20分程度）

5. 受験上の注意

- ・試験開始10分前までに試験場に入場し、各自指定された席に着席してください。
- ・試験開始後20分以上遅刻した場合は、受験できません。それぞれの試験の退出可能時間は、試験開始後20分以後です。
- ・受験票は必ず携行してください。万一紛失したり、忘れた場合は、心理学部・生命環境学部事務室に申し出てください。
- ・答案は必ずHBの黒鉛筆（シャープペンシルは0.5mm以上の芯）で記入してください。
- ・不正行為者には直ちに退場を命じ、全科目を無効とします。
試験場においては、すべて監督者の指示に従ってください。
- ・その他
 - (1) 自動車の学内乗り入れは禁止しています。
 - (2) 携帯電話等は鳴らないようにしてその他の荷物に入れてください。
 - (3) 試験場から離れるときは、貴重品を必ず携行してください(紛失の責任は一切負えません)。
 - (4) 地震および気象警報発令時・交通機関ストライキ時は研究科HPをご覧ください。

6. 出願期間・方法

1. 期 間

a. 秋 季 募 集	b. 春 季 募 集※
2026年 8 月 3 日(月)～ 8 月14日(金)	2027年 1 月 4 日(月)～ 1 月 8 日(金)

※臨床心理学分野は除く。

2. 提 出 先

〒662-8505 兵庫県西宮市岡田山4番1号
神戸女学院大学 心理学部・生命環境学部事務室

3. 方 法

郵送による出願（書留速達）に限ります（締切日消印有効）。

7. 出 願 手 続

〔I〕出願書類

1. 志願票・受験票

本学所定の用紙

2. 成 績 証 明 書

出身大学の成績証明書

3. 今までの主な研究内容

本学所定の用紙※

4. 志望ゼミ・志望理由
および研究希望テーマ

本学所定の用紙※

- ・臨床心理学分野希望者は希望する指導教員名欄への記入不要。
- ・臨床心理学分野希望者は備考欄に希望する心理資格（公認心理師・臨床心理士）を記入すること。

5. TOEFL®もしくは
TOEIC®のスコア証明
書(環境科学分野
および健康科学
分野志願者のみ)

スコア証明書とは、実施団体が本人に直接発行したもので、例えば
TOEIC®の Official Score Certificate（公式認定証）あるいは IP
テストのスコアレポート、または TOEFL®の Test Taker Score
Report あるいは Examinee Score Report（受験者成績書）を指す。
いずれのスコアも出願書類提出時から2年以内のものに限る。

6. 英検・TOEFL®および 本学所定の用紙
TOEIC®アンケート
(臨床心理学分野および人間行動学分野志願者のみ)

※3、4は神戸女学院大学大学院人間科学研究科のホームページの入試情報 (<https://h.kobe-c.ac.jp/g/admissions/>) から様式 (Excel 形式) をダウンロードの上、作成してください。

【注意事項】

- ・ 本学所定の様式以外、または本学が指定しない資料の提供があった場合、出願書類として受け付けません。
- ・ 出願書類 3、4 はファイル上で入力 (手書き不可) し、A 4 サイズの白紙で印刷してください。入力時、ファイル内の記入例や記入方法等を確認してください。
- ・ 印刷後、入力した内容が正しく記載されているかどうか、必ず確認の上提出してください。
- ・ 受験票は出願締切後に郵送します。

〔Ⅱ〕入学検定料の納入方法

入学検定料 35,000円

- (1) 入学検定料は銀行等の金融機関の窓口からの振り込みに限ります。郵便局からの振り込みはできません。また、現金自動支払機 (ATM) による振り込みは、受け付けません。
- (2) 払込用紙〈(C)・(D)票〉は、志願票〈(A)票〉および「受験票」〈(B)票〉と一連つづりとなっていますので、必要事項をすべて記入の上、そのまま切り離さずに、入学検定料と振込手数料を添えて金融機関の窓口提出してください。
- (3) 振り込んだ後、(A)・(C)票および「受験票」〈(B)票〉を受け取り、(A)・(C)票に金融機関の収納印があることを確認してください。
※収納印がない場合は、振り込んだ金融機関で押印してもらってください。
- (4) (A)票および「受験票」〈(B)票〉を出願書類に同封してください。
- (5) (C)票は領収書です。本人が大切に保管してください。

〔Ⅲ〕出願要領

1. 出願書類は本学所定の封筒を使用し、必ず書留速達で郵送してください。
2. 内容に不備がないか、郵送前によく確認してください。

〔Ⅳ〕出願上の注意

1. 人間行動学分野、環境科学分野、健康科学分野の志願者は、指導を希望する教員と事前にコンタクトを取ることが望ましい。
臨床心理学分野の志願者は、所属するゼミが大学院入学後に決定するため、事前コンタクトは不要です。指導教員について事前に希望を出すことができません。
2. 出願後は志望分野の変更を一切認めません。
3. いったん納入された入学検定料および提出書類は返還しません。
4. 障害等があり、受験に際して特別の配慮を必要とする志願者は、受験方法等の準備のため、出願に先立ち、心理学部・生命環境学部事務室に申し出て相談してください。なお、必要に応じて健康診断書等の提出を求める場合があります。

8. 志願票・受験票記入上の注意

志願票は(A)～(D)の各票からなっており、記入に際しては黒のボールペンを使用し、文字は楷書、数字は算用数字で正確明瞭に記入し、該当事項は○で囲んでください。なお、※印の欄は記入しないでください。

誤って記入した場合は、訂正箇所には二重線を引き押印の上、正しく記入してください。また、必ず自筆で記入してください。記入にあたっては、11ページ「志願票・受験票記入例」を参照してください。

先方銀行欄<(D)票>

希望する銀行の番号を○で囲んでください。

志願者氏名<(A)(B)(C)(D)票>

志願者の本名を楷書で丁寧に記入してください。外国籍の者が通称名を用いる場合は、住民票に記載されている通称名に限ります。(A)・(B)・(D)票には必ずフリガナをカタカナで明記してください。

志願者への連絡先住所欄<(A)・(D)票>

本人への連絡先(郵便番号・住所・電話番号)を記入してください。

「市」の場合、都道府県は省略してください。

番地は算用数字で記入してください。丁目・番地などはハイフン「―」を使用してください。

なお、この住所宛に受験票および判定結果通知書を送付します。

希望する専門分野<(A)票>

希望する専門分野を記入してください。

生年月日<(A)票>

西暦および元号で記入してください。

学歴・職歴欄<(A)票>

志願者本人の最終学歴まで記入してください。

職歴もあれば(現職がある場合は特に詳しく)併せて記入してください。

写真<(A)・(B)票>

写真は次のものを用い、裏面に氏名を明記し、貼付してください。

- (1) 最近3か月以内に撮影した写真(カラーも可)
- (2) 大きさは縦4 cm・横3 cm
- (3) 正面・上半身・無帽で背景は無地のもの

出身校<(B)票>

志願者の出身校を記入してください。

注) 志願票提出後の変更は一切認めません。

志願票・受験票記入例

(A)

2027年度 神戸女学院大学大学院 人間科学研究科 人間科学専攻(博士前期課程) 志願票

希望する専門分野 臨床心理学	コード 8 1 0	受験番号※	
志願者氏名 フリガナ コウベ ハナコ 漢字 姓 神戸 名 花子	生 年 月 日 2004 (昭和34) 16 年 10 月 12 日生		
志願者への連絡先	郵便番号 662-8505	電話番号 0798・52・0955	写 真 縦4cm×横3cm 裏面に氏名を明記し貼付すること。
	都道府県 市区郡 西宮市		
	町番地 岡田山4-1		
	マンション等号 岡田山マンション201		

(西暦で記入)	2020年4月～2023年3月	兵庫県 私立 神戸女学院 (高等学校 中等教育学校) 卒業
	2023年4月～2027年3月	神戸女学院 大学 人間科学部 心理・行動科学科 専攻 (卒業見込)
	年 月～ 年 月	
	年 月～ 年 月	
	年 月～ 年 月	
	年 月～ 年 月	

注) ※欄および裏面は記入不要

(B)

2027年度 神戸女学院大学大学院 博士前期課程 受験票

裏面の注意書をよく読むこと。※は記入不要

※	第 番
氏名	神戸花子
フリガナ	コウベハナコ
出身校	神戸女学院 大学 人間科学部 心理・行動科学科 専攻

○試験当日は、本票を必ず持参すること。

写 真

縦4cm×横3cm

裏面に氏名を明記し貼付すること。

(C)

神戸女学院大学大学院 人間科学研究科(博士前期課程) 入学試験検定料 領収書

¥35,000	受取人 学校法人 神戸女学院
氏志願者名 神戸花子 殿	
上記のとおり領収しました。	
学校法人 神戸女学院	
本人保管	
整理番号 903001	

(受付銀行→本人)

(D)

神戸女学院大学大学院 人間科学研究科 (博士前期課程) 入学試験検定料 振込依頼書 電信扱 科目※

(銀行で切り離し)

受付銀行へお願い

- 太枠内を打電してください。整理番号を氏名頭部に必ず打電してください。
- 受付銀行取納印が3か所ありますので、必ず押印の上、A、B、C票および受験票を依頼人へ返戻してください。
- 下記銀行のうち、三菱UFJ銀行の本・支店では、手数料は無料です。

志願者の皆さんへ

- 希望する銀行の番号を○印で囲んでください。
- ATMおよびインターネットバンキングによる振込はできません。

神戸女学院大学大学院 人間科学研究科 (博士前期課程) 入学試験検定料		振込依頼書		電信扱		科目※	
依頼日 (西暦)	年 月 日	振込指定	電信扱	手数料	※		
先方銀行 (取りまとめ店)	① 三菱UFJ銀行 西宮支店 普通	1	1	1	3	8	2
	2 三井住友銀行 甲東支店 普通	3	9	4	0	5	1
受取人 口座名	ガク) コウベジョガクイン						
	学校法人 神戸女学院						
整理番号	903001						
志願者	(カタカナ) 氏名	姓 コウベ 名 ハナコ					
	(漢字) 氏名	姓 神戸 名 花子					
	連絡先住所	〒(662-8505) 西宮市岡田山4-1岡田山マンション201 ☎(0798) 52 - 0955					

銀行取扱期間 (期間外取扱不可)

・(秋季) '26年 8月3日から 8月14日まで

・(春季) '27年 1月4日から 1月8日まで

(受付銀行保管)

9. 判定結果通知

a. 秋 季 試 験	b. 春 季 試 験
2026年 9 月19日(土)	2027年 2 月20日(土)

上記日付で志願者全員に郵送で判定結果を発送します。また、合格者には入学手続案内を同封します。

10. 入 学 手 続

a. 秋季試験合格者	b. 春季試験合格者
2026年10月2日（金）までに入学申込金を納入し、Web 入学手続を完了の上、必要書類を提出してください。この手続を行わない場合は入学許可を取り消します。 授業料・教育充実費（前期分）は2027年3月24日（水）までに納入してください。 なお、入学手続完了後、2027年3月31日（水）（必着）までに簡易書留にて入学辞退届を提出した場合に限り、授業料・教育充実費の前期分相当額のみ返還します。 ※詳細は判定結果通知時に交付する入学手続案内に記載します。 ※入学申込金（入学金と同額）は、授業料・教育充実費の納入と同時に入学金として取り扱います。	2027年3月24日（水）までに入学金と授業料・教育充実費（前期分）を納入し、Web 入学手続を完了の上、必要書類を提出してください。この手続を行わない場合は入学許可を取り消します。 なお、入学手続完了後、2027年3月31日（水）（必着）までに簡易書留にて入学辞退届を提出した場合に限り、授業料・教育充実費の前期分相当額のみ返還します。 ※詳細は判定結果通知時に交付する入学手続案内に記載します。

11. 納 付 金

2027年度は未定です。以下に2026年度の納付金および諸会費に関する事項を示します。

	初年度納付金(年額)	入学手続時納付金
入 学 金	200,000円	200,000円
授 業 料	403,000円	201,500円
教 育 充 実 費	193,000円	96,500円
合 計	796,000円	498,000円

- 注意事項**
- (1) 入学金は初年度のみ徴収します。
 - (2) 神戸女学院大学卒業後、本大学院に入学する者は、入学金を半額（100,000円）とします。
 - (3) 履修する科目によっては実験実習料を入学後に徴収します。
 - (4) 他にめぐみ会〔同窓会〕入会金10,000円（本学院出身者は不要）を後期に徴収します。
 - (5) いったん納入された入学金または入学申込金は、返還しません。
 - (6) 学費の補助を必要とする学生を援助し、優れた学生に学業を奨励するために各種奨学金・記念賞があります。
- ※ 上記納付金および入学検定料には、消費税は課されません。

12. 社会人入学

1. 募集人員 人間行動学分野、環境科学分野、健康科学分野 若干名

* 臨床心理学分野の募集はありません。

2. 出願資格 次の各項の要件をすべて満たす女子。

(1) 下記の条件のいずれかに該当する者。

- ・大学卒業後、3年以上経過した者。
- ・外国において、学校教育における16年の課程を修了し、3年以上経過した者。
- ・文部科学大臣の指定した者。

(2) 履修(30単位)が可能で、指導を希望する教員と事前相談の上で研究計画書の提出ができる者。

3. 試験日 2027年2月17日(水)

(博士前期課程春季一般入学試験と同じ)

4. 試験科目・試験時間割

専門分野	科目	時間
人間行動学 環境科学 健康科学	専門	11:15~12:15 (60分)
	面接	13:00 (1名15分程度)

(1) 筆記試験 (春季一般入学試験と同一内容のもの)

専門

※環境科学分野および健康科学分野の受験者は、7ページに掲載の専門試験範囲参照。

(2) 面接

事前に提出された大学の成績証明書、これまでの活動、業績を説明する書類、研究計画書を基に行う。

5. 受験上の注意 博士前期課程春季一般入学試験と同じ。

6. 出願期間・方法 博士前期課程春季一般入学試験と同じ。

※出願期間 2027年1月4日(月)~1月8日(金)

7. 出願手続

〔Ⅰ〕出願書類 博士前期課程春季一般入学試験と同じ。

※TOEFL®もしくはTOEIC®のスコア証明書のみ提出不要。

〔Ⅱ〕入学検定料の納入方法 博士前期課程春季一般入学試験と同じ。

〔Ⅲ〕出願要領 博士前期課程春季一般入学試験と同じ。

〔Ⅳ〕出願上の注意 博士前期課程春季一般入学試験と同じ。

※指導を希望する教員と事前に相談の上、研究計画書(様式自由。志望ゼミ・志望理由および研究希望テーマの用紙に研究計画を含めて記載でも可)を提出すること。

8. 志願票・受験票記入上の注意 博士前期課程春季一般入学試験と同じ。

※「学歴・職歴」欄外の下部余白に「社会人入学希望」と記入すること。

9. 判定結果通知 博士前期課程春季一般入学試験と同じ。

10. 入学手続 博士前期課程春季一般入学試験と同じ。

11. 2026年度納付金 博士前期課程春季一般入学試験と同じ。

神戸女学院大学大学院

人間科学研究科概要

■ 人間科学専攻 博士前期課程

人間科学研究科は人間科学専攻の1専攻とし、①臨床心理学、②人間行動学、③環境科学、④健康科学の相互に関連した4つの専門分野を置く。本研究科では、個々の専門分野の研究を深化させるとともに、相互に有機的関連を保ちつつ教育・研究を展開することを目指して1専攻としている。これら4つの専門分野では次のような教育・研究を行う。

【専門分野】

①臨床心理学

現代社会を生きる我々は、人生の様々な局面で複雑・多様な心理的問題に直面する。本専門分野は、臨床心理学の専門知識を用いた心理臨床的支援を様々な実習を通して体系的・実践的に学ぶとともに、教育・医療・福祉・産業・司法矯正等の近接領域の専門家と協働した支援の在り方を探求する。同時にこれらの実践を伴う研究を通して、心の本質、人格とその発達及び障がい、家庭や親密な対人関係のもつ機能、社会への適応等、現代社会のニーズに応える諸知識を探求する。

なお、本専門分野は、「臨床心理士」(第1種)・「公認心理師」(国家資格)受験資格に伴う養成課程を兼ねている。

②人間行動学

人間は多くの事柄を認識して、日常的に様々な判断・行動をとっている。従来、人間の判断は常に合理的で正しいものだと考えられていたが、膨大な情報を効率良く処理するために、人間の判断・行動には様々な特徴が存在することが明らかにされつつある。そして、この特徴は状況によって不適切な場合もあり、教育・産業・交通・医療など様々な領域で社会問題につながっている。この分野では、このような現代社会に関連する問題意識をもとに、人間行動の基本的特徴を理解するとともに、どのような情報化社会・文化を構成していくべきなのかを探究する。

③環境科学

今日の社会において、人間の欲望を追い求め、単なる技術の発展のみを推進していけば、我々人類のみならず地球上のあらゆる生物の生存すらが、脅かされるという環境問題への認識が高まっている。そこで、我々を取り巻く自然環境の現状把握と将来予測を通じてその持続可能性を高めるために、原生的な環境から人工的に改変された環境にいたるさまざまな環境を対象として、人間と環境のかかわり方を視野に入れながら環境汚染や生態系に関する諸問題を中心に教育・研究を行う。

④健康科学

社会の複雑化と長寿化を迎えた21世紀に、健康は人々にとってますます重要なものとなっている。健康とは、身体的、精神的および社会的に良好な状態とされているが、これらは独立して存在しているわけではなく、お互いに密接に関連しあっている。従って、本専門分野では、複雑に変化する現代社会において、環境や生活習慣、さらには心の問題が人間の身体におよぼす影響を、自然科学や医科学の手法を用いて、実証的に研究する。

教育課程

教育課程は、①人間科学合同演習、②専門分野の講義、③専門分野の演習・実習、④特別研究、⑤関連科目、から構成され、修士論文を必修としている。

人間科学合同演習（4単位）は、総合的・学際的な研究方法を強めるために、4つの専門分野からそれぞれ教員が参加して全学生の1年次は必修として設ける科目であり、隣接あるいはやや異なった領域の学生・教員が協力して分野間の有機的結合を図ることを目的としている。

専門分野の講義（各2単位）は、臨床心理学、人間行動学、環境科学、健康科学の各分野について専門的な講義科目を設ける。

専門分野の演習（8単位、臨床心理学分野以外）は、研究指導教員が学生の研究テーマに応じて行う演習指導である。

専門分野の実習（臨床心理学分野）臨床の現場重視の観点から実習科目（各2単位）を複数設ける。

特別研究（8単位）は、研究指導教員が学生個人を対象に、修士論文作成に関する種々の研究を指導する枠として設けている。

関連科目は、学識豊富あるいは、最先端の研究者に集中講義を依頼して新鮮な学問的刺激が得られるようにする。又、情報科学特論を設け、専門分野の研究を支援する。

修士論文は全員の必修とし、公開の場で発表し評価をうけることとする。

2年間に必修科目2単位、選択必修科目20単位（臨床心理学分野は22単位）、選択科目8単位（臨床心理学分野は6単位）の合計30単位以上を修得し、修士論文の審査に合格した者には修士（人間科学）の学位を授与する。

2026 年度 授業科目・担当教員

授 業 科 目			担 当	時 数	単位数 前 後	要求単位		
必修 選択	※ H591	人間科学合同演習Ⅰ	中川徹夫・鶴田英也・上泰・山下麗・佐藤友亮	1	2	2		
	H592ab	人間科学合同演習Ⅱ a、b		1	1 1			
臨床 心理 学	選択 必修	※ Ps580(2)	認知行動療法特論	実光由里子	2	2	分野 内 の 科 目 か ら 22 以 上	
		※ Ps581ab	臨床心理学特論 a、b	a. 石谷真一 b. 若佐美奈子	2	2 2		
		※ Ps583-1a	臨床心理面接特論Ⅰ a (心理支援に関する理論と実践)	石谷真一・鶴田英也	2	2		
		※ Ps583-2b	臨床心理面接特論Ⅱ b	須藤春佳・石谷真一	2	2		
		※ Ps584(2)	投影法特論	西村佐彩子	*	2		
		Ps585(1)(2)	心理療法特論		*	2or2		
		※ Ps587-1(1)	犯罪心理学特論 (司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	黒澤良輔	2	2		◎
		※ Ps596-1a	臨床心理査定演習Ⅰ a (心理的アセスメントに関する理論と実践)	石谷真一・須藤春佳・鶴田英也・若佐美奈子・ 文山知紗・大島剛	2	2		
		※ Ps596-2b	臨床心理査定演習Ⅱ b	石谷真一・須藤春佳・鶴田英也・若佐美奈子・ 文山知紗・大島剛	2	2		
		※ Ps511	臨床心理基礎実習	若佐美奈子・石谷真一・須藤春佳・鶴田英也・ 西嶋雅樹	3	2		
		※ Ps514-2	臨床心理実習Ⅱ	若佐美奈子・石谷真一・須藤春佳・鶴田英也・ 吉益光一・西嶋雅樹・文山知紗	3	1		
		※ Ps516-1(2)	心理実践実習Ⅰ	須藤春佳・若佐美奈子	*	1		
		※ Ps516-2	臨床心理実習Ⅰ (心理実践実習Ⅱ)	若佐美奈子・石谷真一・須藤春佳・鶴田英也・ 西嶋雅樹	3	1		
		※ Ps516-3	心理実践実習Ⅲ	須藤春佳・若佐美奈子	3	1		
		※ Ps516-4(2)	臨床心理地域実践実習Ⅰ (心理実践実習Ⅳ)	若佐美奈子・西嶋雅樹・沼谷直子	*	3		
		※ Ps516-5(1)	臨床心理地域実践実習Ⅱ (心理実践実習Ⅴ)	西嶋雅樹・沼谷直子	*	3		
		※ Ps516-6	臨床心理地域実践実習Ⅲ (心理実践実習Ⅵ)	鶴田英也・石谷真一・須藤春佳	*	1		
		※ Ps535(1)	臨床心理家族文化特論 (家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	鶴飼奈津子	*	2		
	※ Ps518(2)	臨床心理地域実践演習 (心の健康教育に関する理論と実践)	須藤春佳・西嶋雅樹	*	2			
	※ Ps509(1)	産業臨床心理学特論 (産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	大塚貞男	2	2			
	※ Ps533(2)	障害者(児)心理学特論 (福祉分野に関する理論と支援の展開)	松本恵	*	2			
	※ Ps547(1)	学校臨床心理学特論 (教育分野に関する理論と支援の展開)	西嶋雅樹	2	2			
必修	※ Ps593	臨床心理学特別研究Ⅰ	石谷真一・須藤春佳・鶴田英也・若佐美奈子・ 西嶋雅樹・文山知紗	2	4			
	※ Ps594	臨床心理学特別研究Ⅱ	同上	2	4			
人間 行動 学	選択 必修	※ BS583(1)	社会心理学特論	木村昌紀	2	2	◎	
		BS584(2)	認知心理学特論		2	2	◎	
		※ BS586(2)	生涯発達心理学特論	松並知子	2	2	◎	
		BS582(2)	人間情報処理特論		2	2	◎	
		ES537(2)	日本の環境とその保全Ⅰ		2	2		
必修	ES538(1)	日本の環境とその保全Ⅱ		2	2			
	※ BS591	人間行動学演習Ⅰ	上泰・小林知博・木村昌紀・矢野円郁	2	4			
	※ BS592	人間行動学演習Ⅱ	上泰・小林知博・木村昌紀・矢野円郁	2	4			
	※ BS593	人間行動学特別研究Ⅰ	上泰・小林知博・木村昌紀・矢野円郁	2	4			
	※ BS594	人間行動学特別研究Ⅱ	上泰・小林知博・木村昌紀・矢野円郁	2	4			
環 境 科 学	選択 必修	※ ES588(1)	環境科学特論Ⅰ	横田弘文	2	2	◎△	
		ES589(2)	環境科学特論Ⅱ		2	2	◎△	
		※ ES576(2)	動物生態学特論	高橋大輔	2	2	◎△	
		ES578(1)	景観生態学特論		2	2	△	
		ES521(1)	環境分子生物学特論		2	2	△	
		※ ES523(1)	分析化学特論	山下麗	2	2	◎△	
		※ ES525(1)	溶液科学特論	中川徹夫	2	2	△	
		ES527(1)	基礎物理化学特論		2	2	△	
		ES587(1)	環境社会学特論		2	2	◎	
		ES537(2)	日本の環境とその保全Ⅰ		2	2		
	ES538(1)	日本の環境とその保全Ⅱ		2	2			
	必修	※ ES591-1	環境科学演習Ⅰ (A)	高橋大輔	2	4	□	
		※ ES591-2	環境科学演習Ⅰ (B)	高林裕	2	4	□	
ES591-3		環境科学演習Ⅰ (C)		2	4	□		
※ ES591-4		環境科学演習Ⅰ (D)	中川徹夫	2	4	□		
※ ES591-5		環境科学演習Ⅰ (E)	横田弘文	2	4	□		
※ ES591-6		環境科学演習Ⅰ (F)	三宅志穂	2	4			
※ ES592-1		環境科学演習Ⅱ (A)	高橋大輔	2	4	■		
※ ES592-2		環境科学演習Ⅱ (B)	高林裕	2	4	■		
ES592-3		環境科学演習Ⅱ (C)		2	4	■		
※ ES592-4		環境科学演習Ⅱ (D)	中川徹夫	2	4	■		
※ ES592-5		環境科学演習Ⅱ (E)	横田弘文	2	4	■		
※ ES592-6		環境科学演習Ⅱ (F)	三宅志穂	2	4			
※ ES593		環境科学特別研究Ⅰ	高橋大輔・高林裕・中川徹夫・横田弘文・ 三宅志穂	2	4			
※ ES594	環境科学特別研究Ⅱ	同上	2	4				

授 業 科 目			担 当		時 数	単位数		要求単位	
						前	後		
健康科学	※ Sc541-1(1)	精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）	吉益光一		2	2		◎	選択する分野内の科目から20以上
	Sc549(1)	細胞生物学特論			2	2		◎△	
	※ Sc544(2)	生化学特論	西海信		2		2	◎△	
	※ Sc585(1)	食品基礎科学特論	高岡素子		2	2		◎	
	Sc583(2)	応用生命科学特論			2		2	◎△	
	ES537(2)	日本の環境とその保全Ⅰ			2		2		
	ES538(1)	日本の環境とその保全Ⅱ			2	2			
	※ Sc591	健康科学演習Ⅰ	高岡素子・佐藤友亮・吉益光一・西海信・高木俊人		2		4		
	※ Sc592	健康科学演習Ⅱ	同上		2		4		
	※ Sc593	健康科学特別研究Ⅰ	高岡素子・佐藤友亮・吉益光一・西海信・高木俊人		2		4		
関連科目 (分野問わず履修可)	H585(1)	人間科学特別講義Ⅰ			2	2			
	※ H586(1)	人間科学特別講義Ⅱ	三宅麻希		2	2			
	H587(2)	人間科学特別講義Ⅲ			2		2		
	※ H589(1)	人間科学特別講義Ⅴ	WONG James Gongliang		2	2			
	E522-1ab	専門領域通訳特論（自然科学）Ⅰ a、b			2	2	2		
	E522-2ab	専門領域通訳特論（自然科学）Ⅱ a、b			2	2	2		
	※ Sc588(1)	情報科学特論	上泰・三浦欽也		2	2			
	※ Sc507(1)	統計法特論	田端拓哉		2	2			
	ES535(2)	アジアの環境とその保全Ⅰ			2		2		
	ES536(1)	アジアの環境とその保全Ⅱ			2	2			
	ES580(1)	E S D 特論			2	2			

推奨科目	※ R500ab	キリスト教学 a、b	大澤香	2	2	2	
------	----------	------------	-----	---	---	---	--

※…開講する授業科目。

*…別計画（集中講義等あるいは開講形式未定）

- ・所属する専門分野からは20単位以上（臨床心理学分野の院生は22単位以上）を履修。
- ・残り8単位以上（臨床心理学分野の院生は残り6単位以上）はH592ab 人間科学合同演習Ⅱ a,b、関連科目、他の専門分野の◎印から履修。（H592b 履修条件：H592a 先修）
- ・これ以外に修士論文を必修。
- ・教職・教科「理科」を取得する者は
△…これらの科目より8科目16単位 □…環境科学演習Ⅰ（A,B,C,D,E）より1科目4単位
■…環境科学演習Ⅱ（A,B,C,D,E）より1科目4単位 の合計24単位を履修すること。

■ 特別研究の内容

◎臨床心理学特別研究

石谷真一教授 臨床心理学の領域において、修士論文の作成に向けた院生各自のテーマに基づく研究を指導していく。事例研究、調査研究、文献研究のいずれにおいても研究法の基本を押さえた学問的研究となるよう個別の指導を進めるほか、受講生間で討論する機会を設けその能力を伸ばせるよう指導する。

須藤春佳教授 臨床心理学分野のテーマに関する修士論文の作成に向けて研究指導を行う。箱庭制作等のグループワークも取り入れる。文献や先行研究の精読、および研究計画の立案と実施、そして結果の分析と考察を計画的に進め、各自の研究テーマを深められるよう指導を行う。

鶴田英也教授 各自の問題意識やパースペクティブを、日々の心理臨床実践はもちろんのこと、心理学に限らない学際的な思考も通じて探求、精錬し、それを再び心理臨床実践へ還していく方法を習得するよう指導する。その作業を修士論文としてまとめるべく、理論（文献）研究、調査（量的・質的）研究、事例研究などの様々な方法を用いていく。

若佐美奈子教授 臨床心理の実践家として、臨床経験から学んだことを言語化し、客観的に検証する営みによって、臨床技術を磨いていくことを目指す。博士前期課程では、理論や経験のいずれかに偏らず、主体的かつ科学的に考察する力を身につけることを目指し、学生間の討議を重視した指導を行う。

西嶋雅樹准教授 各自の関心を基に、心理臨床実践と理論を往還させた修士論文の指導を心掛ける。具体的には、先行研究の文献講読を行い心理臨床学的な観点を養うと共に、調査や心理臨床実践によって考察素材を収集し、それらを基に修士論文の執筆ができるように指導を行う。不定期で事例研究論文の講読も行う。

文山知紗専任講師 臨床心理学分野に関する問題意識について、先行研究の探索から精読等丁寧に行い、調査研究や事例研究などあらゆる方法を用いて、課題解決への道を探求する指導を行う。日々の臨床活動及び臨床心理学的体験ワークを通じて、自らの感覚を振り返り言語化する力を養うことで、臨床家としての成長にも寄与する。

◎人間行動学特別研究

上泰教授 情報科学分野や教育分野における課題を、情報通信技術を用いて解決する研究を行う。また、学会等で分かりやすく発表する方法や、成果を論文としてまとめる方法等について、指導・助言を行う。

木村昌紀教授 社会心理学、特に対人コミュニケーションと対人関係の領域で、各自の研究テーマに沿った修士論文の作成を指導する。具体的には、まず、国内外の先行研究や研究計画を発表し、議論の中で計画を洗練させる。次に、実験・調査・観察などの方法でデータを収集し、分析・考察していく。最終的に、修士論文にまとめ、プレゼンテーションを行う。

小林知博教授 社会心理学あるいは社会的認知心理学の領域において、個々の研究テーマに沿った修士論文作成の指導をする。内容としては、英文の関連文献講読を多数行い、独自のテーマに基づいた仮説をたて、実験・調査を実施し、データ解析を行い、結果について論述していく。

矢野円郁教授 認知心理学、ジェンダー、教育などの領域において、各自の研究テーマに沿った修士論文の作成を指導する。各自の問題意識に関連する文献を多数精読し、先行研究の理論を整理するとともに、独自の仮説を立て、実験や調査など、適切な研究方法を用いてデータを収集し、分析・考察した内容を論文にまとめる。

平岡大樹専任講師 発達心理学および認知科学の領域において、養育者の心理・行動や、親と

子の関わりを通した発達プロセスをテーマとする修士論文の作成を指導する。研究手法には調査、実験、出生コホートデータを用いた縦断的軌跡の解明等を用いる。具体的な活動としては、国内外の先行研究の精読に基づく内容の理解、指標や解析といった方法論の理解双方を連関させて、研究スキルの習得と向上を図る。

◎環境科学特別研究

三宅志穂教授 「人と環境」に関する研究テーマに取り組む学生に対する修士論文の指導を行う。研究対象とする事例は国内外に広く求め、研究は文献収集、実地調査を通した実証的アプローチにより進める。学会発表や学術雑誌への投稿も推奨し、助言と指導を行う。

中川徹夫教授 中学校・高等学校の理科教育（化学教育）に関連する研究テーマ（マイクロスケール実験教材の開発・改良等）を設定する。先行研究の調査、研究の推進、修士論文の作成に関する指導・助言を行う。

高橋大輔教授 動物生態学、行動生態学、保全生態学の領域において、野外調査と室内実験を組み合わせた研究テーマを設定し、修士論文の作成や学会発表に必要な諸技術の指導ならびに助言を行う。

横田弘文教授 化学物質の環境生物に対する影響に関して、室内曝露実験及びフィールド調査の両面から研究を行う。独力で研究を遂行できるよう研究計画の立案、実験技術、論文の執筆方法、口頭発表の方法等に関して助言、指導する。

山下麗准教授 人為起源による汚染物質の環境動態と生物への影響について、野外調査と室内実験を組み合わせて研究する。研究テーマの立案、実験・調査技術、学術論文の執筆と発表について指導・助言を行う。

高林裕専任講師 都市や都市近郊等の空間を対象として、生態系の高次消費者である鳥類を環境指標とした空間分析や景観に対する人々の印象評価などのランドスケープ研究を実施する。自ら設定したテーマで研究を計画・実施・論文執筆・発表することができ、ディスカッションを踏まえた論理的な考察ができるよう、指導・助言する。

◎健康科学特別研究

佐藤友亮教授 血液疾患を中心とした、がんの細胞生物学を分子レベルで解析する。また、医学・医療における身体コミュニケーションも研究テーマとする。研究計画の立て方、研究成果報告（学会発表や論文作成）の方法についても指導を行う。

高岡素子教授 食品の持つ栄養学的・生理学的機能について、ヒトや細胞を対象とした実験、ラボ実験を駆使し、そのメカニズムを解明する。研究テーマに対しての実験計画の立て方、データ解析、論理的な考察法など科学的な論文を作成するために必要な能力を養うことを目的に指導する。

吉益光一教授 精神保健学を中心テーマに据えて、疫学研究の方法論を修得し、発達障害などの精神疾患と各種要因（遺伝要因、自然環境要因、心理社会的環境要因）の関係性を明らかにする研究を行う。学会発表や論文執筆を通して自ら独立して研究を推進する力を養う。

西海信准教授 生体において代謝は、生命活動に密接に関係する生化学反応である。そこで、代謝を担っている物質である代謝物に注目し、代謝物が健康や疾患などに対してどのような影響を与えるのかについての研究の指導・助言を行う。

高木俊人専任講師 野生生物の保全や管理のための基礎的な知見の蓄積を目標とし、DNA解析や文献調査によって分野横断的な研究テーマを設定する。特別研究では、科学的な論文を作成するために必要な技術の習得を目的とした指導を行う。

■ 「臨床心理士」養成第1種指定大学院

臨床心理学分野は2002年に臨床心理士養成のための第1種指定大学院に認可され、多くの修了生が臨床心理士として教育・福祉・医療等の現場で活躍しています。2007年に文部科学省より大学院教育支援プログラムに採択されたのを機に、アウトリーチ活動や子育て支援プログラムなど心理相談室の地域実践活動をカリキュラムに連動、個別の心理相談に加えて多様な臨床活動の創造・実践を学べます。

■ 中学校・高等学校理科専修免許状取得について

環境科学分野に所属し、教職課程で所定の単位を修得すれば、教科「理科」の中学校または高等学校専修普通免許状を取得することが可能です。

■ 公認心理師カリキュラム

厚生労働省・文部科学省が認定する心理支援職（カウンセラー）の国家資格です。学部で指定の科目の単位を取り、本学博士前期課程臨床心理学分野に所属した上で指定された科目の単位を修得すると、公認心理師受験資格の対象となります。

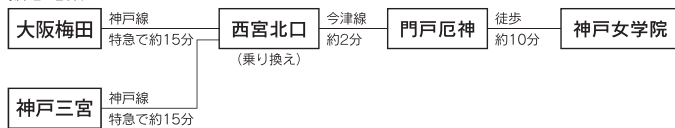
公認心理師資格取得希望者は、出身学部において資格関連科目を修得しているか自らの責任で確認してください。

交通案内

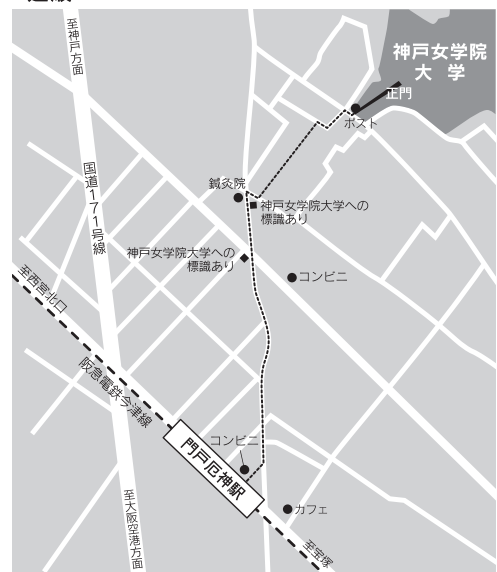


阪急電鉄神戸線「西宮北口」で今津線宝塚行きに乗り換え「門戸厄神(もんどやくじん)」下車、徒歩約10分。
阪急「大阪梅田」・「神戸三宮」から「西宮北口」までの所要時間は特急で約15分。

阪急電鉄



道順



神戸女学院大学 心理学部・生命環境学部事務室

〒662-8505 兵庫県西宮市岡田山4番1号 ☎(0798)51-8553